

～ 発信します。利根川ダム群の水情報！ ～

令和5年7月3日

矢木沢ダム

撮影日：R5.7.3



(独)水資源機構

奈良俣ダム

撮影日：R5.7.3



(独)水資源機構

藁原ダム

撮影日：R5.7.3



国土交通省

相俣ダム

撮影日：R5.7.3



国土交通省

藤原ダム

撮影日：R5.7.3



国土交通省

草木ダム

撮影日：R5.7.3



(独)水資源機構

ハッ場ダム

撮影日：R5.7.3



国土交通省

下久保ダム

撮影日：R5.7.3



(独)水資源機構

渡良瀬貯水池

撮影日：R5.7.3

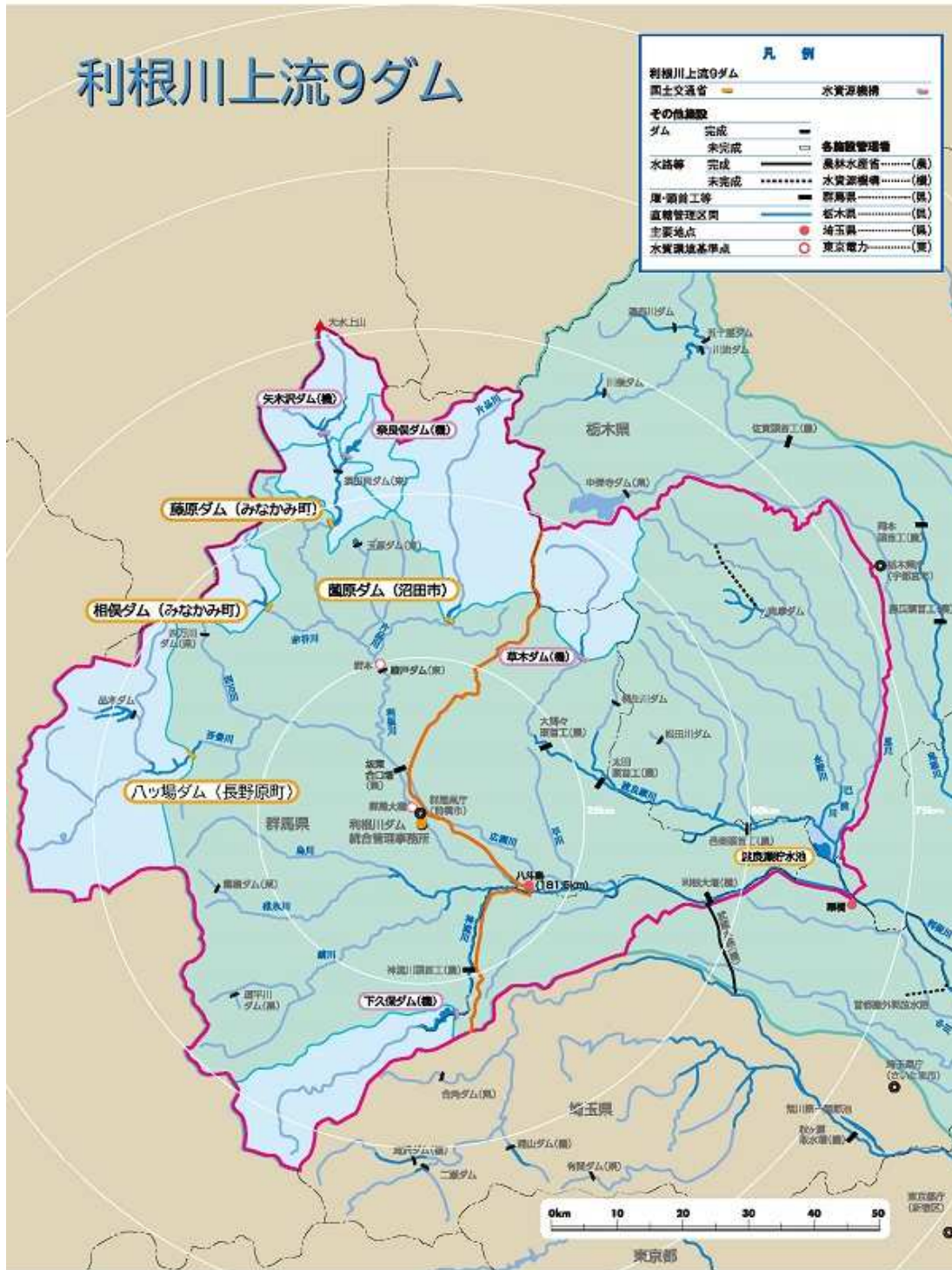


国土交通省

利根川ダム統合管理事務所では、限りある水資源を有効活用し安定した水利用を可能にするため、9つのダムを一体として運用する「統合管理」を行っております。

利根川上流ダム群位置図

◇位置図



◇各情報リンク

■各ダム位置図・基本情報・・・位置図・各ダムの説明

https://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/tonedamu_index001.html

■各ダムリアルタイムデータ・・・過去12時間分の貯水率・放流量等を表示

<https://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/teikyo/realtime2/E007020.html>

■国直轄4ダム(藤原ダム・相俣ダム・萩原ダム・ハッ場ダム) LIVE映像

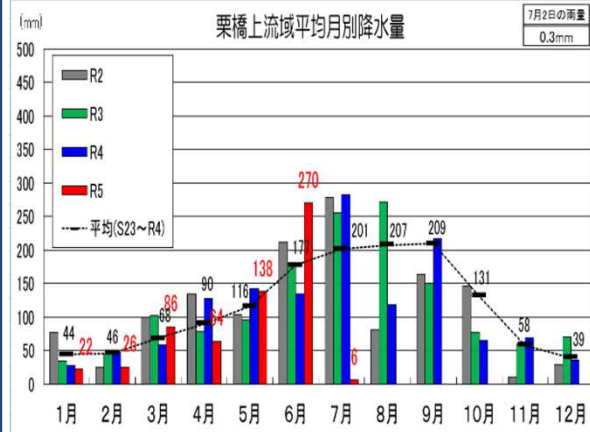
<https://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/teikyo/realtime2/E014010.html>

利根川上流ダム群9ダムの現状

◇現在のダム運用

- 山間地の積雪は平均よりも少なく、3~4月の高い気温により雪解けが進みました。その結果、5月下旬には全ての観測所で少雪しました。これは平均よりも**約1ヶ月早い消雪**でした。
- 4月は降水量が少なく、5月末までダム貯水量は横ばいの状態が続きました。ハッ場ダムの貯水量は4月中旬に6,300万m³でしたが、もしこれが無ければ厳しいダム群の貯水状況で用水補給を行わなければならなかったと予想されます。
- 6月の台風2号の影響により貯水量が増加し、その後、用水補給に合わせて洪水期（7~9月）に向け洪水貯留準備水位まで、**水位を低下させたところ**です。

◇栗橋上流域平均月別降水量



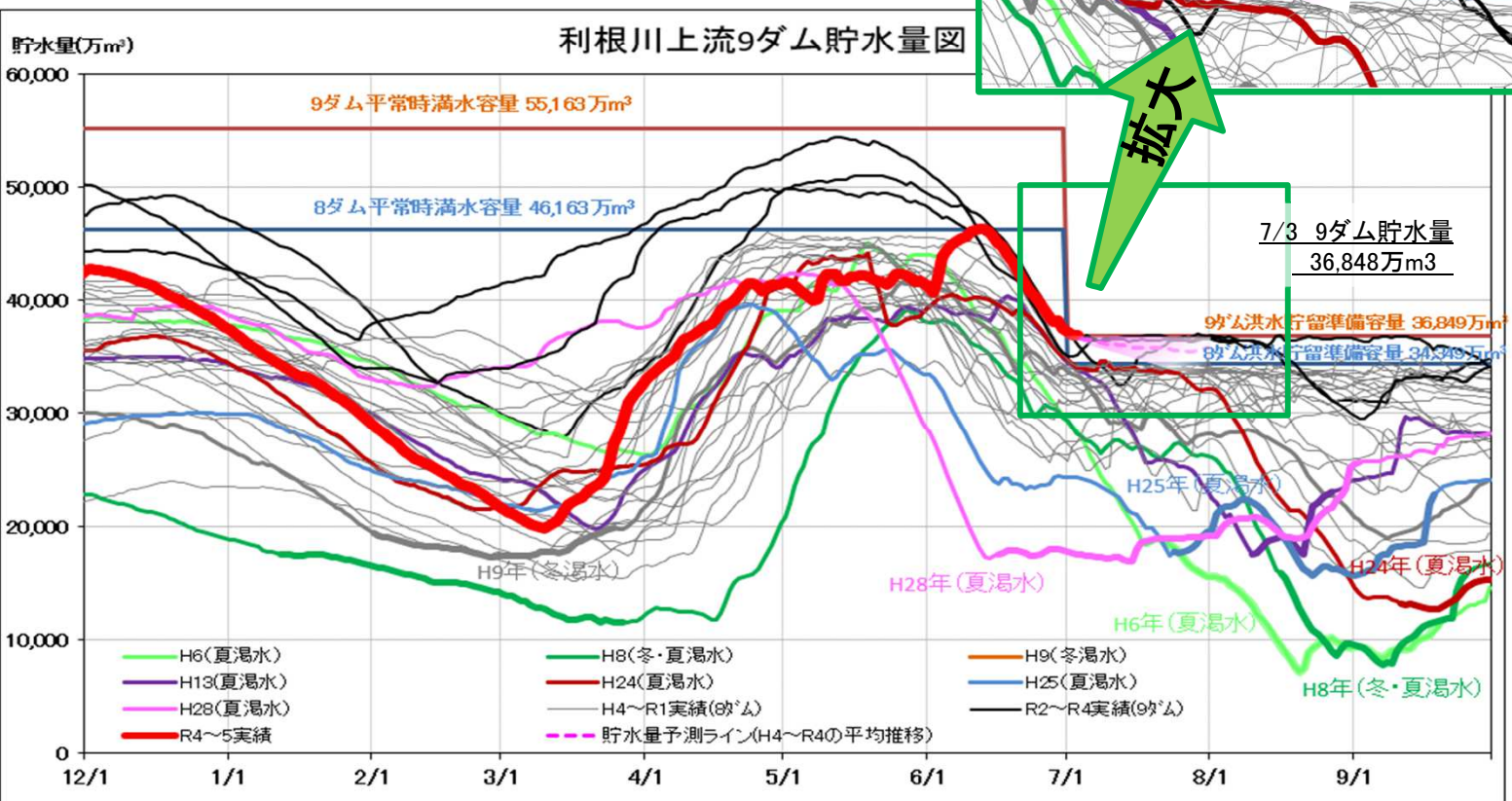
今後、**平年並みの降水量があれば、ピンク破線付近で推移する想定**

気象庁1か月予報（6月29日発表）：平年並み以上の降水量となる予報は**80%**

【予測ライン条件】
7/1の9ダム貯水量を36,849万m³とし、H4~R4の8ダム平均と同じ推移をした場合の1ヶ月予測ライン

◇今後のダムの貯水状況について

- 9ダム貯水量は、7月1日に**貯水率100%状態**で洪水期をスタートしました。
- 気象庁の1か月予報によると、7月の降水量は平年並み以上となる確率が80%であるため、高い貯水位で推移すると予想されます。一方で、気温が平年より高くなる確率が50%であることから、水需要の増加によりダムからの補給量が増え、貯水率が急激に低下する可能性も想定されます。



※ピンクハッチ部：貯水量の見込みを示していますが、今後の天候により、見込みどおりにならないことがあります。
※湯水年の太線部分：制限を行った期間

洪水期に入り、ダムの水運用が変わります

◇洪水期におけるダムの役割と貯水量の変化

- ダムの役割のひとつに「防災操作」があります。防災操作とは、台風や前線などによる大雨の際に、ダムに流れ込む水の一部を貯めこみ、ダムから放流する量を減らすことにより下流河川の水位を低下させ、下流域の洪水被害を防止・軽減するための操作のことです。「洪水調節」とも言います。
- 7月から9月にかけては、台風や前線によって雨の多い季節であるため、利根川上流ダム群の9ダムでは、7月1日から9月30日（ハッ場ダムは10月5日）の間を「洪水期」、それ以外の期間を「非洪水期」としています。
- 9ダムのうち矢木沢ダムを除く8ダムでは、洪水期にダム貯水池の水位を非洪水期より低くし、洪水調節容量を確保することによって、大雨が降った際に多く流水を貯められるようにしておきます。
- そのため、5月～6月にかけては、農業用水等の水利用の増加による補給と合わせ、ダム貯水位の低下操作「ドローダウン」を実施しています。

●ダム用語●

洪水時最高水位（サーチャージ水位）

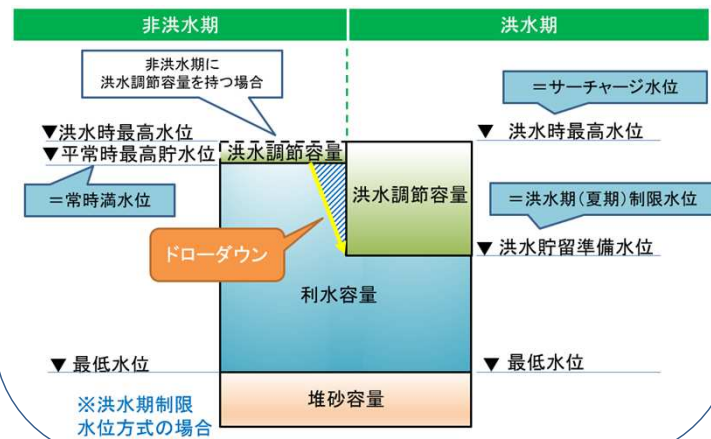
洪水時に一時的に貯水池へ貯めることができる最高の水位

平常時最高貯水位（常時満水位）

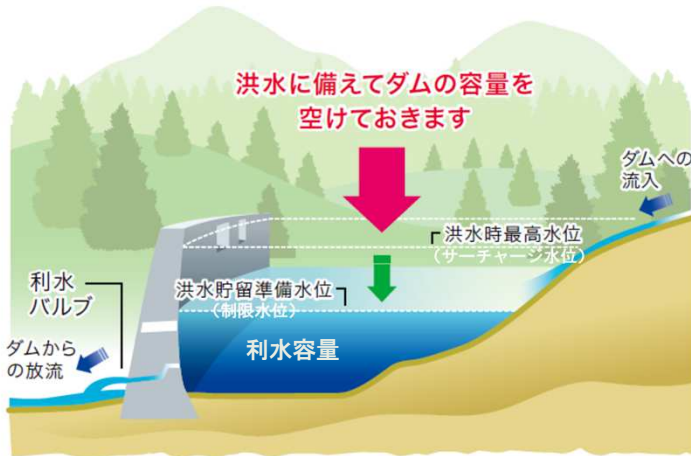
平常時（非洪水時）に貯水池へ貯めることができる最高の水位

洪水貯留準備水位（制限水位）

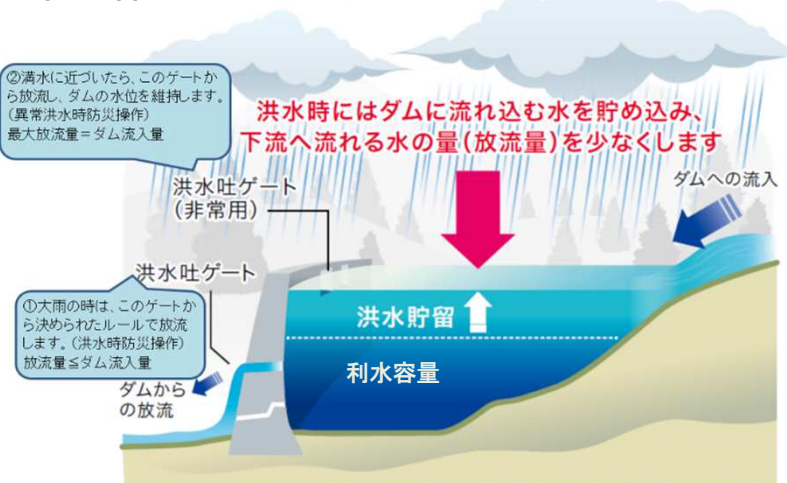
洪水期の平常時に、貯水池へ貯めることができる最高の水位



<洪水期の平常時>



<防災操作（洪水調節）>



●ダムのトリビア●

利根川上流9ダムの、洪水調節容量の年間運用は2種類あります。

洪水期制限水位方式

洪水期に洪水貯留準備水位まで水位を低下させる運用方式です。矢木沢ダムを除く8ダムがこの方式です。

オールサーチャージ水位方式

1年を通して洪水調節する容量を一定量確保する運用方式です。非洪水期と洪水期の切り替えはありません。矢木沢ダムがこの方式です。